

[スペイン語]

基礎スペイン語

授業科目概説

スペイン語の基礎的運用能力を身につけると同時にスペイン語圏の文化についての理解を進めます。基礎スペイン語Ⅱ修了時点で、スペイン語の基本的な特徴を理解した上で、日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができるようなスペイン語運用能力(ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR) A1 レベル)を修得していることを目指します。最低週4時間の自習を前提とします。

履修方法

第1 Semesterに「基礎スペイン語Ⅰ」、第2 Semesterに「基礎スペイン語Ⅱ」を履修します。週2回の授業で2単位が認定されます。年間を通じて連続した内容です。

原則として、入学時の「初修語履修希望書」にもとづいて配属されたクラスで履修します。クラスの異なる組み合わせの履修はできません。また、「基礎スペイン語Ⅰ」と「基礎スペイン語Ⅱ」の間でのクラス変更は認めません。「基礎スペイン語Ⅰ」の単位を修得した者だけが、「基礎スペイン語Ⅱ」を履修できます。

また、他の初修語と重複して履修することは認められません。(ただし、受講希望者が定員に満たない場合は可。)

展開スペイン語

授業科目概説

基礎スペイン語で修得した内容の延長として、より高度な運用能力を養うための訓練を行うと同時にスペイン語圏の文化についての理解をさらに進めます。展開スペイン語Ⅱ修了時点で、スペイン語の基本的な特徴に習熟し、日常生活での身近な事柄について、簡単なやりとりができるようなスペイン語運用能力(ヨーロッパ言語共通参照枠 A2 レベル)を修得していることを目指します。最低週4時間の自習を前提とします。

履修方法

第3 Semesterに「展開スペイン語Ⅰ」、第4 Semesterに「展開スペイン語Ⅱ」を履修します。週1回の授業で2単位が認定されます。

「基礎スペイン語Ⅰ」(「基礎スペイン語Ⅰ-1」「基礎スペイン語Ⅰ-2」)及び「基礎スペイン語Ⅱ」(「基礎スペイン語Ⅱ-1」「基礎スペイン語Ⅱ-2」)の単位を修得した者だけが「展開スペイン語Ⅰ」を履修できます。また、「展開スペイン語Ⅰ」の単位を修得した者だけが「展開スペイン語Ⅱ」を履修できます。

開講クラス群から各自が選択したクラスで履修します。なお、文系学部の学生を対象にしたクラスだけではなく、全学部の学生を対象にしたクラスも開設しています。

「展開スペイン語Ⅰ・Ⅱ」は複数履修制度の対象です。同一 Semesterに複数の「展開スペイン語」を履修したり、すでに修得した科目を次年度以降に再び履修することができます。この場合は、クラスの指定は問いません。

実践スペイン語

授業科目概説

本授業科目の目的は、スペイン語の学生のうち特に希望するものを対象に、個別化されたガイダンスとコーチングのもとで、学生それぞれの学習目的・目標、現状の能力、学習条件に合わせた形でのスペイン語運用能力拡張の機会を提供することにあります。各科目開始時に学生各自がすでに獲得しているスペイン語運用能力に応じて、各科目修了時により高い段階の運用能力を獲得していることをめざします。すなわち、CEFR A1に近いレベルのスペイン語運用能力を持つ学生はA1レベルの運用能力、A1レベルのスペイン語運用能力を持つ学生はA2レベルの運用能力、A2レベルのスペイン語運用能力を持つ学生はB1レベルの運用能力、B1レベルのスペイン語運用能力を持つ学生はB2レベルの運用能力を獲得するというようにです。CEFRに準拠し、スペイン語の音声・文章理解・音声・文章産出・音声でのやりとりの各技能領域についてバランスの取れた運用能力を獲得することをめざします。

履修方法

第3 Semesterに「実践スペイン語Ⅰ」、第4 Semesterに「実践スペイン語Ⅱ」を開講します。既に「基礎スペイン語Ⅱ」（「基礎スペイン語Ⅱ-1」「基礎スペイン語Ⅱ-2」）の履修を修了している者であれば、どの科目でも履修することができます。例えば、「実践スペイン語Ⅱ」のみを履修することも可能です。それぞれ2単位が認定されます。展開科目と同時に履修することもできます。ただし、展開科目の代替科目にはなりません。

「実践スペイン語Ⅰ・Ⅱ」は複数履修制度の対象です。同一クォーターに複数の「実践スペイン語」を履修したり、すでに修得した科目を次年度以降に再び履修することができます。

*注意

履修カードの提出（「基礎スペイン語」、「展開スペイン語」及び「実践スペイン語」に共通）

履修カードは授業担当教員から指示があった場合に、教室で本人が直接担当教員に提出してください。履修カードは教室でのみ受け付けます。

初修語の履修について

授業クラスの人数の関係で希望の語種やクラスが履修できない場合があります。担当教員の指示に従って履修クラスを決定してください。

特別な配慮が必要な場合

視覚・聴覚などの問題で特別な配慮が必要な場合は担当教員に相談してください。

外部検定試験による単位認定

経済学部および理学部(理学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・農学部)には、スペイン語の外部検定試験の成績に基づいて単位を認定する制度があります。詳細は本手引きのV. 授業関連事項の「1. 外国語技能検定試験等による単位認定制度について」の項を参照してください。

成績評価方法

スペイン語教科の成績は、「全学教育科目の成績評価等の取り扱いについて」のとおり、「成績が特に優秀であるもの」を「AA」、「成績が優秀であるもの」を「A」、「成績が良好であるもの」を「B」、「成績が可であるもの」を「C」、「成績が不可であるもの又は履修を放棄したもの」を「D」とします。

GP (AA=4、A=3、B=2、C=1、D=0) のクラス平均が 2.5 ± 0.3 となることを目安にして評価します

再履修について

平成29年度から令和3年度までの入学者が再履修する場合は、「基礎スペイン語Ⅰ-1」及び「基礎スペイン語Ⅰ-2」として「基礎スペイン語Ⅰ」、「基礎スペイン語Ⅱ-1」及び「基礎スペイン語Ⅱ-2」として「基礎スペイン語Ⅱ」、「展開スペイン語Ⅰ-1」及び「展開スペイン語Ⅰ-2」として「展開スペイン語Ⅰ」、「展開スペイン語Ⅱ-1」及び「展開スペイン語Ⅱ-2」として「展開スペイン語Ⅱ」、「実践スペイン語Ⅰ-1」及び「実践スペイン語Ⅰ-2」として「実践スペイン語Ⅰ」、「実践スペイン語Ⅱ-1」及び「実践スペイン語Ⅱ-2」として「実践スペイン語Ⅱ」を履修してください。単位についてはそれぞれ読み替えを行うこととなります。

平成28年度以前入学者が再履修する場合は、(旧)「基礎スペイン語Ⅰ」として同名の「基礎スペイン語Ⅰ」、(旧)「基礎スペイン語Ⅱ」として同名の「基礎スペイン語Ⅱ」、(旧)「展開スペイン語Ⅰ」として同名の「展開スペイン語Ⅰ」、(旧)「展開スペイン語Ⅱ」として同名の「展開スペイン語Ⅱ」を履修してください。単位についてはそれぞれ読み替えを行うこととなります。

再履修の場合は、「初修語履修希望書」にもとづく配属クラス指定はありません。